

1. 製品及び会社情報

製品名

MU-M600L（医療器具用速乾性潤滑防錆剤）

会社情報

会社名：シャープ株式会社
住所：〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地
<連絡先>
担当部門：医用洗浄機部門
住所：〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地
電話番号：050-5434-6916

2. 危険有害性の要約

GHS分類：

<物理化学的危険性>

引火性液体 区分3

<健康に対する有害性>

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2

発がん性 区分1A

生殖毒性 区分1A

特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分3（呼吸器）

特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分1（肝臓）

区分2（中枢神経系）

上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については、「区分に該当しない」または「分類できない」に該当する。

GHSラベル要素：

絵表示またはシンボル



注意喚起語 危険

危険有害性情報

H226—引火性液体および蒸気

H319—強い眼刺激

H350—発がんのおそれ

H360—生殖能または胎児への悪影響のおそれ

H335—呼吸器への刺激のおそれ

H336—眠気またはめまいのおそれ

H372—長期にわたる、または反復ばく露による肝臓の障害

H373—長期にわたる、または反復ばく露による中枢神経系の障害のおそれ

注意書き

安全対策

- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- すべての安全注意を読み理解するまでは取扱わないこと。
- 熱、高温のもの、火花、裸火および着火源から遠ざけること。禁煙。
- 容器を密閉しておくこと。
- 容器を接地しアースを取ること。
- 防爆型の換気設備、照明等を使用すること。
- 火花を発生させない工具を使用すること。
- 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- 取扱い後は手、眼をよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

応急措置

- 皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
皮膚を水（またはシャワー）で洗うこと。
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
- ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 火災の場合：消火するために適切な消火剤（粉末、二酸化炭素消火剤等）を使用すること。

保管

- 換気の良い所で保管すること。
- 容器を密閉しておくこと。
- 涼しいところに置くこと。
- 施錠できる場所に保管すること。

廃棄

- 内容物／容器を国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名（一般名）	含有量* （重量％）	官報公示整理番号		CAS No.	構造式
		化審法	安衛法		
エタノール	20～30%	2-202	—	64-17-5	C ₂ H ₅ OH
非イオン界面活性剤	5～15%	—	—	—	—

*：当社の機密情報のため開示できません

4. 応急措置

- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合、直ちに医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
皮膚を水（またはシャワー）で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察／手当てを受けること。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合、医師の診察／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄する。
可能であれば、指をのどに差し込んで吐き出させ、直ちに医師に連絡すること。
- 予想できる急性症状及び遅発性症状：吸入した場合：咳、頭痛、疲労感。
皮膚に付着した場合：皮膚の乾燥。
眼に入った場合：発赤、痛み、灼熱感。
飲み込んだ場合：灼熱感、頭痛、錯乱、めまい、意識喪失。症状は遅れて発現することがあり、過剰にばく露したときは医学的な経過観察が必要である。
- 応急措置をする者の保護：救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤：粉末、二酸化炭素、泡（耐アルコール泡）、水噴霧。
大火災の場合、空気を遮断できる泡消火剤が有効である。
- 使ってはならない消火剤：棒状放水。
- 特有の危険有害性：加熱により容器が爆発するおそれがある。
火災によって刺激性または毒性ガスを発生するおそれがある。
- 特有の消火方法：火元への燃焼源を遮断する。火災周辺の設備、可燃物に散水し、火災延焼を防ぐ。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
- 消火活動を行う者の保護：適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置：漏洩エリアは、関係者以外の立入りを禁止する。
漏洩エリア内に立入るときは、保護具を着用する。
風上から作業し、ミスト、蒸気、ガスなどを吸入しない。
蒸気が多量に発生する場合は、水噴霧し蒸気発生を抑える。
密閉された場所に立入る場合は事前に換気する。
-

環境に対する注意事項	: 河川、下水道、土壌に排出されないように注意する。
回収・中和	: 乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、密閉できる空容器に回収する。 後で廃棄処理する。 大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて密閉できる空容器に回収する。 大量の場合、散水は、蒸気濃度を低下させる。 しかし、密閉された場所では燃焼を抑えることが出来ないおそれがある。
封じ込め及び浄化方法・機材	: 危険でなければ漏れを止める。 漏洩エリア内で稼働させる設備・機器類は接地する。 蒸気抑制泡は蒸気濃度を低下させるために用いる。
二次災害の防止策	: 事故の拡大防止を図るため、必要に応じて関係機関に通報する。 周辺の発火源を速やかに取除く。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉塞場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	: 取扱いは、換気のよい場所で行う。 裸火禁止、火花禁止、禁煙。強力な酸化剤との接触禁止。 静電気対策を行い、作業衣、靴等も導電性の物を用いる。 本製品を取扱う場合、必ず保護具を着用する。
局所排気・全体換気	: 作業場の換気を十分に行う。換気装置を設置し、局所排気または全体換気を行う。
安全取扱注意事項	: すべての安全注意を読み理解するまでは取り扱わないこと。 保護手袋/保護眼鏡または保護面を着用すること。 取扱い後は手、眼をよく洗うこと。
接触回避	: 炎、火花または高温体との接触を避ける。
衛生対策	: この製品を使用するとき、飲食または喫煙をしないこと。 保護具は定期的に点検する。

保管

安全な保管条件	: 施錠できる場所に保管する。
適切な技術的対策	: 直射日光や高温を避ける。 容器を密閉して換気の良い冷暗所に保管する。 風通しをよくし、蒸気が滞留しないようにする。 火気、熱源より遠ざける。

注意事項

安全な容器包装材料	: ポリエチレン、ステンレス等を推奨する。
-----------	-----------------------

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度、管理濃度

化学名（一般名）	管理濃度	許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）	
		日本産業衛生学会 （2023年版）	ACGIH
エタノール	設定されていない	設定されていない	TLV-TWA 1000ppm （2013年版）
非イオン界面活性剤	設定されていない	設定されていない	設定されていない

設備対策	: 取扱い場所の近くに、眼の洗浄および身体洗浄のための設備を設置する。 作業場には局所排気装置又は全体換気装置を設置する。 静電気放電に対する予防措置を講ずる。
保護具	: 保護手袋、保護眼鏡または保護面及び状況に応じて保護衣、保護マスク等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	: 液体
色	: 無色透明
臭い	: 特有の芳香
融点／凝固点	: データなし
沸点または初留点及び沸点範囲	: 87℃
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	: データなし
引火点	: 32.5℃※ ※ペンスキーマルテンス密閉式での測定
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: 原液 約7 0.3%溶液時 6.0～8.0
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水に対して分散する
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度または相対密度	: 0.960～0.980
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし
その他のデータ	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の実取扱い条件下では安定。
化学的安定性	: 通常の実取扱い条件においては安定。
危険有害反応可能性	: 強酸化剤と反応するおそれがある。
避けるべき条件	: 加熱。高温へのばく露。
混触危険物質	: 強酸化剤、酸化性固体、酸化性液体。
危険有害な分解生成物	: 燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素を生じる。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 細胞毒性試験結果 (IC ₅₀ 値) より急性経口毒性 (LD ₅₀) の予測値を次式より求めた。 Log ₁₀ (LD ₅₀ 【mg/kg】) = 0.372 × Log ₁₀ (IC ₅₀ 【μg/mL】) + 2.024
-----------	--

	IC ₅₀ =3318 μg/mL より LD ₅₀ =2172mg/kg から区分外とした。
	但し GHS 分類では区分5に該当する。
急性毒性（経皮）	: データ不足のため分類できない。
急性毒性（吸入：気体）	: 区分に該当しない（GHS 定義による気体ではない）。
急性毒性（吸入：蒸気）	: データ不足のため分類できない。
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	: データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／皮膚刺激性	: データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: GHS 分類の結果、区分2とした。
呼吸器感作性	: データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	: データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	: データ不足のため分類できない。
発がん性	: GHS 分類の結果、区分1Aとした。
生殖毒性	: GHS 分類の結果、区分1Aとした。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: GHS 分類の結果、区分3を20%以上含むため区分3（気道刺激、麻醉性）とした。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: GHS 分類の結果、区分1、区分2を10%以上含むため区分1（肝臓）、区分2（中枢神経系）とした。
誤えん有害性	: データ不足のため分類できない。

1 2. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期（急性）	: データ不足のため分類できない。
水生環境有害性 長期（慢性）	: データ不足のため分類できない。
残留性／分解性	: データなし。
生体蓄積性	: データなし。
土壤中の移動性	: データなし。
オゾン層有害性	: データ不足のため分類できない。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 内容物を国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装	: 内容物を完全に除去し国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

1 4. 輸送上の注意

国連番号	: 1170
品名	: エタノールまたはその溶液
国連分類	: 引火性液体類（クラス3）
容器等級	: III
国内規制	
陸上規制情報	: 消防法、毒劇法、道路法の規定に従う。
海上規制情報	: 船舶安全法、港則法などの規則に従う。
航空規制情報	: 航空法の規制に従う。

15. 適用法令

化審法

優先評価化学物質 : 非該当

監視化学物質 : 非該当

労働安全衛生法

危険物 : エタノール

有機則 : 非該当

特化則 : 非該当

表示対象物 : エタノール

(法第 57 条)

通知対象物 : エタノール

(法第 57 条の 2)

皮膚等障害化学物質 : 非該当

(則第 594 条の 2)

毒物及び劇物取締法 : 非該当

化学物質排出把握管理促進法 : 非該当

消防法 : 非該当

水質汚濁防止法

: 生活環境項目 (施行令第三条第一項)

「生物化学的酸素要求量及び化学的酸素要求量」

〔排出基準〕 160mg/L 以下 (日間平均 120mg/L 以下)

「浮遊物質」

〔排水基準〕 200mg/L 以下 (日間平均 150mg/L 以下)

「ノルマルヘキサン抽出物質含有量」

〔排水基準〕 5mg/L 以下 (鉱物油類)、30mg/L 以下 (動植物油脂類)

海洋汚染防止法

: 施行令 有害液体物質 : Z 類

16. その他の情報

安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う事業者提供されるものです。取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようにお願いします。本データシートは安全性の保証をするものではありません。
